



【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

1年算数科の事例

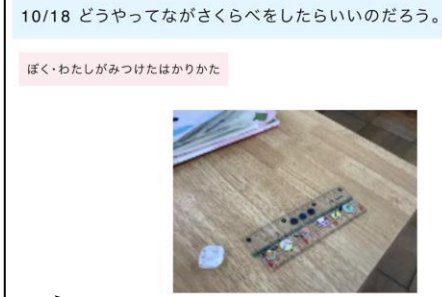
単元名：ながさくらべ

どうやってながさくらべをしたらいいのだろう

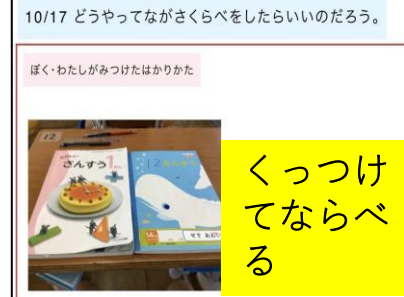
題材設定



課題提示



中間共有



まとめ・ふりかえり



東小授業スタイル

身の回りにあるものの長さ、大きさ、広さに疑問をもたせるなど、日常生活に結びつけて題材を提示する。自分が計測した場所や方法を学習支援システムに写真を貼り付けた。

実際に計測する方法を見童一人ひとりがオンライン上で共有した。その後にノート〇冊分や鉛筆〇本分というまとめを学習支援システムに記録した。

ながさくらべの活動では、課題を「How型」に設定した。正しく長さを比べるにはどうしたらよいという点に焦点化させ、その意見を共有することで、見ためで判断できないものも「端をそろえる」「まっすぐ並べる」と正しく比べることができる等、写真から視覚的にとらえることができた。





【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

3年理科の事例

単元名：風やゴムのはたらき

ねらったところに車を止めるにはどうすればいいのだろう。

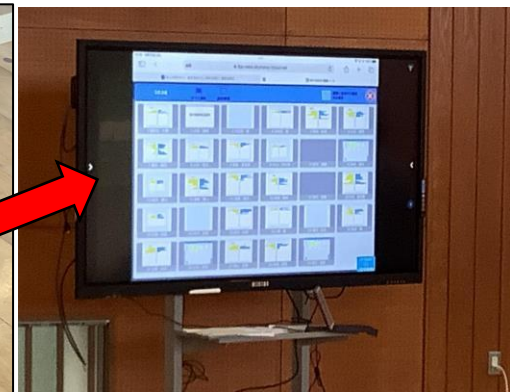
前時までに児童は、風の力について学習した。本時ではゴムが伸ばして離れた時の力の伝わり方の予想を検証する実験に取り組んだ。

課題を「How」型にすることで、児童の問題解決意識を喚起した。

中間共有

まとめ・ふりかえり

課題提示



題材設定



タブレット端末に記録した動画を共有し、計測の方法等を再検討をした。

表計算アプリに記録した実験の結果を全体で共有し、実験結果のまとめを行った。

タブレット端末に実験時の動画を撮影したり、ゴムを伸ばす距離を変えたときの車の進んだ距離を表計算アプリに記録したりした。それにより実験方法の再検討や、数値化された結果から実験前の予想との比較を行うことができた。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

6年国語科の事例

単元名：やまなし

宮沢賢治は「五月」と「十二月」、それぞれどんな世界を伝えたかったのだろうか。

題材設定



前時までに「イーハトーブの夢」から考えた宮沢賢治の生き方や「五月」と「十二月」をイメージした絵を学習している。グループで本時のねらいに則した話し合いをした。

課題提示



中間共有



シートを2シート用意してそれぞれの意見を色ごとにまとめ、学級全体で共有した。

タブレット端末を用いた話し合い活動の様子

まとめ・ふりかえり



本時では、学習時にどのように問題解決に取り組むのか「考え方」「方法」「形態」についての話し合いを行った。児童は、オンラインでの意見共有アプリを使用し、課題に対しての自分の考えを交換をした。

中間共有では、まとめの際に、最終的な意見をまとめるための比較・検討を行った。





【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

5年算数科の事例

単元名：速さ

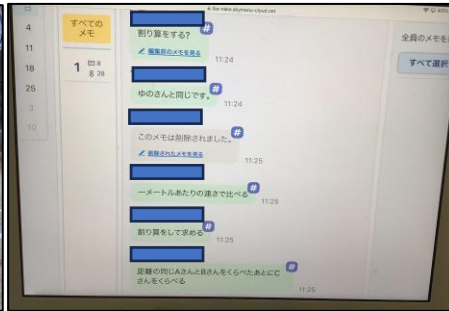
速さを比べるためにはどうすればいいのだろう

題材設定

課題提示

中間共有

まとめ・ふりかえり



東小授業スタイル

同じ速さの児童に曲走路を走らせてゴールに差が出ることから題材に興味を持たせた。課題に対して予想を「気づきメモ」で共有し、安心して学習に取り組める雰囲気を作った。

課題解決に向けてグループワークや「気づきメモ」で中間共有をしながら多様な学習形態で授業を進めていく。振り返りは各自のタブレットで行い、全体で共有している。

毎時間の振り返りを大切にして、タブレット上でいつでも自分や他者の学びを共有できることで、苦手な児童も安心して学習に取り組める雰囲気づくりを大切にしている。振り返りをタイピング、手書き、音声動画など自由に選択できることで、瞬時に自分の学びや次回の目標設定に役立てることができている。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

3年国語科の事例

単元名：まいごのかぎ

課題 なぜりいこの気もちがかわったのだろう？

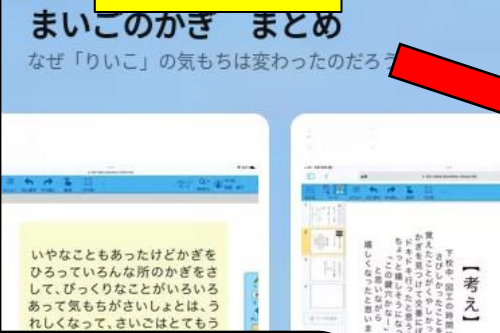
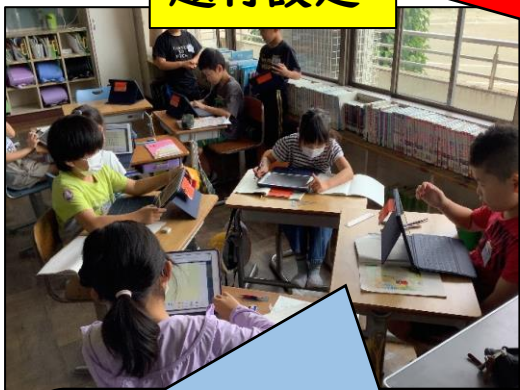
題材設定

課題提示

場面ごとに気持ちと、その根拠になる言葉を色分けしながら記入したり、オンラインで友達のノートと比較・共有したりした。まとめ・ふりかえりも同じように共有できるようにした。

中間共有

まとめ・ふりかえり



「考え」なぜさいしょとさいごで「りいこ」の気もちがかわったかというところ、さいしょは、自分が、だんだんいやになってしまったけど、さいごになると、いい出来事がたくさんふえていった、さいごは図工の時間にけしてしまった、あのうさがバスのまどにうれしそうに手をふっていて、りいこもうれしい気もちに変わって、楽しい気もちに変わって、さいごはいい気もちになった。

学習形態を工夫し、気持ちの読解に必要なこと（題材提示）を通して、児童と共に課題を設定していった。
 (例) 言葉に注意すれば気持ちがわかる。
 →なぜりいこの気もちがかわったのだろう？

はじめは、文字の入力に戸惑う児童も見られたが、繰り返し学習していくうちに、ほとんどの児童がスムーズにまとめられるようになった。また、これまでの学習で、人物の気持ちやその理由を主観で答えてしまう児童も、可視化することにより登場人物の心情と根拠となる言葉とを結びつけて考えられるようになっていった。





【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

自・情学級
自立活動の事例

題材名：自分でチャレンジ！

学校や家でチャレンジしてみたいことは何かな？



ヒント

- ①ボールをつかいます。
- ②世界中で人気があります。
- ③11人でやります。

Let's チャレンジ!!

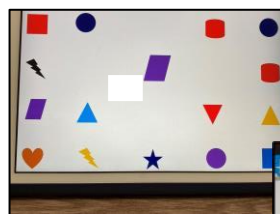
①チャレンジすること			
②チャレンジする日にも、期間			
③チャレンジするには何がひつよう？			
④チャレンジした後はどんな自分になっているのか？			
チェックらん	1/26	1/29	1/30

Let's チャレンジ!!

1週間	2週間くらい
自覚まし時計をつける	自分からお手伝いをする気持ち
スッキリ、気持ちがいい	優しい心を持つ人
タイム	タイム

Let's チャレンジ!!

1週間	
時計	
タイム	タイム



活動のウォーミングアップでスリーヒントクイズを行った。プレゼンテーションソフトを活用し、1つずつヒントを提示することで、聴覚と視覚からの情報で答えをイメージしやすくなった。

これまでの自分を振り返り、これからチャレンジしたいことを各自のタブレットに打ち込んだ。いつでも家や学校において、自分で確認したりチェックしたりできるようにした。

友達のシートを中間共有することで、自分の目標が決められない児童が参考に来た。また、発言だけでなくそれを視覚化することで、友達の考えをより理解することができた。

個別の課題では、ビジョントレーニングを行った。個々の課題に合わせた動画を選択し、活用した。

児童の実態から、タブレットの活用は聴覚だけでなく、視覚的効果をも高め、児童の理解を深めるためにも有効である。小集団活動、個別活動とそれぞれの課題において、学習支援ソフトや動画、プレゼンテーションソフトと目的を勘案しながら使い分けをした。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

4年総合的な学習の事例

単元名：福祉について考えよう

課題

あたたかいまちづくりのためにどんな工夫があるのだろう

題材設定



課題提示



点字が
ゆかりやみじかなもの
にある

自分のテーマに沿って、家庭や地域等自分の生活から、情報（写真）を集め、主体的に学習を進められるようにした。

中間共有



グループワーク
直接対話



まとめ・ふりかえり



「手話」「車いす」「目の不自由な方のコンサート」「被災地へ送る土のう袋ボランティア」体験を通して、私たちの生活の中にある福祉に目を向け、「あたたかいまちづくりのためにどんな工夫があるのか」という課題設定につなげた。

発表者の児童は、プレゼン資料を画面にうつして全体に発表し、聞いている児童は、オンライン上で感想を記入した。学級全体で全員の感想をその場で共有することができた。

本時では、体験したことをもとに、自分の生活場面とつなげて課題を見出して、学習に取り組んだ。タブレット端末を使い、家庭や地域の中で、写真や動画等の資料収集に活用した。中間共有は、友達とプレゼン資料を見せ合い直接対話したり、画面共有をしたりしながら、いつでも共有できる場面設定を行った。





【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

1年国語科の事例

単元名：じどう車くらべ

〇〇は、どのような「しごと」をし、そのためにどのような「つくり」になっているのだろう。

前時までに児童は、教科書の自動車の「しごと」と「つくり」について学習した。本時では、児童が調べたい自動車の「しごと」と「つくり」について図鑑にまとめる活動に取り組んだ。

課題を「How」型にすることで、児童の問題解決意識を喚起した。

課題提示



中間共有



児童がまとめた図鑑のページをタブレット端末に記録し、画像を共有した。「しごと」と「つくり」についてお互いに確認し、アドバイスをし合った。

まとめ・ふりかえり



友達からのアドバイスを参考にして仕上げた図鑑を再度共有した後、本時の振り返りをタブレット端末で行った。

本時では、課題を「How」型にし、児童がどの自動車について調べるのかを明確にしてから自動車図鑑作りに取り組んだ。タブレット端末を活用した中間共有を通して、友達とアドバイスをし合うことで、更に「しごと」とそのための「つくり」について深く考えることができた。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

1人1台端末を活用した家庭学習



学習状況と、各問題の正答率の確認
(リアルタイムでも可能)

フィードバックを生かした授業での学習の様子



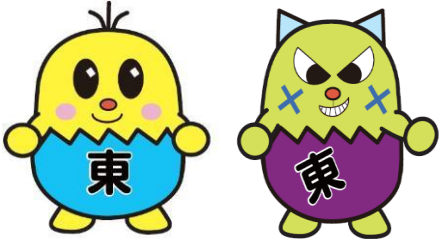
家庭学習と授業の連携のサイクル

月21日 11:31	3秒	100%	0%	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:17	4秒	100%	0%	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:18	2分	27%	64%	1	○	○	○	X	X	X	X	X	X	X
月21日 11:20	53秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:17	31秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:24	29秒	100%	0%	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:29	11秒	100%	0%	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月21日 11:16	27秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎自主的な取組と課題の配信。主に、予習・復習を自分のペースで進める場合と、繰り返し学習に励むべき内容を教師側から配信する場合とで活用し、家庭学習の充実を図った。

学習状況と正答率を分析し、課題やポイントを授業にフィードバックする。

オンラインのアプリケーションを用いた家庭学習の例



児童は達成状況を視覚化し、学習意欲につなげることができた。教師は正答・誤答の状況を把握することで、授業の工夫改善を行った。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校

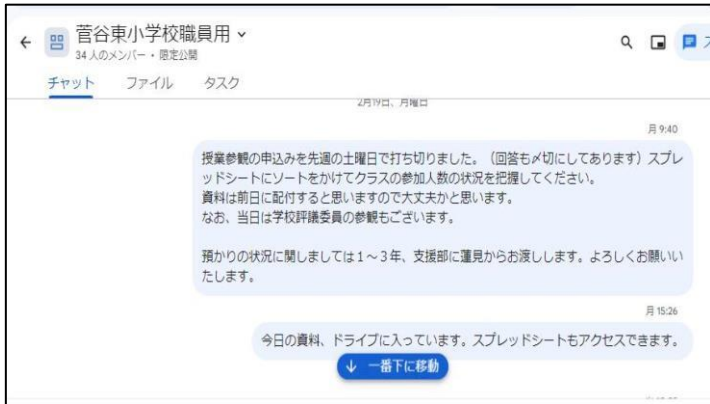


【取組内容④】クラウド機能を活用した校務のペーパーレス化

校務ペーパーレス化の事例

チャット機能を用いた情報交換の例

クラウドの有効活用



チャット機能を活用し、オンラインで情報の共有を行った。打ち合わせの時間削減でき、容易に研修等が可能になった。

これまで各種申込み等ペーパーベースで行ってきた。アンケート機能を用いることで集計・管理を容易に行うことができた。

長時間かけて行っていた指導案の検討もアンケート機能⇒シートでポイントを絞り、効率的かつ内容の充実した検討を行うことができた。

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校 要請訪問参加申込

要請訪問の参加申込シートです。入力お願い申し上げます。指導案等を下記アドレスに送信するため入力に誤りがないか確認をお願いいたします。また、オンラインで参加を予定されている方は前日までに下記アドレスにZoomミーティングIDとパスコードを送信いたします。

当日の日程について

- 13:25～14:10 研究授業（2クラス公開 3年3組 図工 5年2組 体育）
- 14:30～15:20 研究協議（3年3組【図工】3年2組【体育】）

D
指導案や授業展開の良い点
アートカードを使って導入をすることで、児童の意欲を引き出し、図工的な思考に入りやすくなることができると思
導入のマッチングゲームが面白いなと思いました。 ゲームを通して、絵の視点(風景、技法、色、形)をおさえられていいなと思います。 →これが本時の鑑賞ポイントにもつながる感じですね！
活動が全てスカイメニューで取り組めるのがやりやすくていいと思います。 アートカードを使ってのマッチングゲームは、鑑賞する際のポイントとなる項目を楽しみながら見つけられて効果的 アートカードを使ってゲーム感覚で楽しくやれるところがいい。また、カードを裏面にして、めくったカードから



アンケート機能を用いた研究授業申込みやシートを用いた指導案検討の例